



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月6日

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス 上場取引所 東大  
 コード番号 8016 URL <http://www.onward-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)廣内 武  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役財務・監査担当 (氏名)吉沢 正明 (TEL)03(3272)2317  
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績(平成23年3月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	182,484	△0.3	11,370	30.7	12,197	21.3	4,358	△7.0
23年2月期第3四半期	183,095	△2.5	8,699	36.5	10,054	46.3	4,687	74.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第3四半期	27.	81	27.	60
23年2月期第3四半期	29.	92	29.	75

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
24年2月期第3四半期	285,079		154,639		53.8	978.	56	
23年2月期	281,642		158,744		55.8	1,002.	34	

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 153,364百万円 23年2月期 157,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
23年2月期	—	—	—	24.00	24.00
24年2月期	—	—	—		
24年2月期(予想)				24.00	24.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	244,800	0.1	10,200	14.2	11,600	10.5	3,500	28.6	22.	34

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	172,921,669株	23年2月期	172,921,669株
24年2月期3Q	16,197,532株	23年2月期	16,238,791株
24年2月期3Q	156,707,558株	23年2月期3Q	156,679,311株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年3月1日～平成23年11月30日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から着実な回復傾向にあるものの、欧州の債務危機による世界経済の減速懸念や円高の長期化などにより依然として先行き不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、震災直後の消費の落ち込みからは、復興需要などにより回復基調にあるものの、天候不順の影響などもあり、全般的には厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループは、国内事業は株式会社オンワード樫山を中心に、商品提案力と店舗販売力を強化し収益性の向上に努めたことにより、上期の震災の影響を吸収し大幅な増益となりました。また、海外事業は欧州地区、アジア地区の成長戦略が順調に進み増収増益となりました。

以上の結果、連結売上高は1,824億84百万円(前年同期比0.3%減)、連結営業利益は113億70百万円(前年同期比30.7%増)、連結経常利益は121億97百万円(前年同期比21.3%増)、連結四半期純利益は43億58百万円(前年同期比7.0%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

#### ① アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、基幹ブランドを中心に、ブランド横断企画の戦略商品提案、新規出店ならびにリニューアルによる売上拡大を図ったことにより第3四半期の期間業績は増収増益となりました。他の国内アパレル子会社においても、収益拡大の施策を進め計画どおりの業績を達成しました。

海外事業につきましては、欧州地区の業績が大幅に改善するとともに、アジア地区、北米地区も順調に推移しました。

#### ② その他の事業

リゾート関連事業につきましては、市場の回復は進んでいるものの、震災の影響により前年を下回る結果となりましたが、サービス関連事業につきましては、ファッション物流事業のアクロストラנסポート株式会社ならびに商業施設的设计・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターの両社は、第3四半期の期間業績が回復し増収増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ34億37百万円増加し、2,850億79百万円となりました。これは売上債権およびたな卸資産の増加等によるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ75億41百万円増加し、1,304億40百万円となりました。これは主に仕入債務、未払法人税等の増加によるものです。純資産は41億4百万円減少し、1,546億39百万円となり、自己資本比率は、53.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が103億81百万円となりましたが、第3四半期連結会計期間末の特徴である売上債権、たな卸資産の季節要因による増加等の支出があり25億31百万円の収入(前年同期は16億99百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、土地の売却収入があったものの、売場設備への投資および投資有価証券の取得等により1億74百万円の支出(前年同期は37億24百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済および配当金の支払が主なもので55億89百万円の支出(前年同期は54億72百万円の支出)となりました。

これらの結果、当第3四半期末における現金および現金同等物は前連結会計年度末に比べて33億73百万円減少し、252億60百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年4月8日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しています。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しています。これにより、営業利益は1百万円増加し、経常利益は3百万円、税金等調整前四半期純利益は1,089百万円減少しています。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,681百万円です。

#### ②「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しています。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,359	30,939
受取手形及び売掛金	34,842	25,399
商品及び製品	32,200	25,738
仕掛品	797	1,254
原材料及び貯蔵品	4,122	3,364
その他	10,744	9,572
貸倒引当金	△669	△723
流動資産合計	108,397	95,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,108	25,531
土地	49,415	53,100
その他（純額）	9,071	7,991
有形固定資産合計	83,595	86,622
無形固定資産		
のれん	41,791	43,731
その他	2,798	3,013
無形固定資産合計	44,589	46,745
投資その他の資産		
投資有価証券	31,441	34,592
その他	19,670	20,491
貸倒引当金	△2,613	△2,354
投資その他の資産合計	48,497	52,729
固定資産合計	176,682	186,097
資産合計	285,079	281,642

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,754	32,703
短期借入金	30,764	30,887
未払法人税等	6,168	4,533
賞与引当金	3,603	1,568
役員賞与引当金	181	299
返品調整引当金	772	869
ポイント引当金	195	163
建替関連損失引当金	1,320	—
その他	12,157	11,650
流動負債合計	92,917	82,677
固定負債		
長期借入金	20,514	22,298
退職給付引当金	4,149	3,468
役員退職慰労引当金	136	119
その他	12,721	14,334
固定負債合計	37,522	40,220
負債合計	130,440	122,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	120,390	117,776
自己株式	△23,380	△23,445
株主資本合計	177,132	174,453
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,131	△2,837
繰延ヘッジ損益	△126	△5
土地再評価差額金	△13,064	△11,003
為替換算調整勘定	△3,446	△3,557
評価・換算差額等合計	△23,768	△17,405
新株予約権	630	532
少数株主持分	645	1,163
純資産合計	154,639	158,744
負債純資産合計	285,079	281,642



## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	183,095	182,484
売上原価	94,277	92,803
売上総利益	88,817	89,680
販売費及び一般管理費	80,117	78,310
営業利益	8,699	11,370
営業外収益		
受取利息	85	88
受取配当金	280	284
受取ロイヤリティー	569	571
受取地代家賃	761	447
その他	1,345	965
営業外収益合計	3,041	2,358
営業外費用		
支払利息	608	499
売場什器等除却損	138	116
為替差損	492	588
デリバティブ評価損	131	4
その他	315	321
営業外費用合計	1,686	1,531
経常利益	10,054	12,197
特別利益		
固定資産売却益	—	1,049
貸倒引当金戻入額	424	—
その他	107	—
特別利益合計	532	1,049
特別損失		
投資有価証券評価損	44	58
減損損失	179	84
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,086
建替関連損失	—	1,320
その他	76	315
特別損失合計	300	2,864
税金等調整前四半期純利益	10,286	10,381
法人税等	5,532	5,952
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,429
少数株主利益	66	71
四半期純利益	4,687	4,358

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,286	10,381
減価償却費	4,084	4,093
減損損失	179	84
のれん償却額	2,720	2,746
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△470	207
退職給付引当金の増減額(△は減少)	466	684
受取利息及び受取配当金	△365	△373
支払利息	608	499
売上債権の増減額(△は増加)	△9,266	△9,579
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,774	△6,883
仕入債務の増減額(△は減少)	1,623	5,074
その他	304	94
小計	5,398	7,030
利息及び配当金の受取額	474	530
利息の支払額	△565	△514
法人税等の支払額	△4,675	△5,684
法人税等の還付額	1,067	1,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,699	2,531
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△237	△1,016
定期預金の払戻による収入	1,367	2,242
有形固定資産の取得による支出	△2,046	△2,958
投資有価証券の取得による支出	△1,818	△1,116
投資有価証券の売却による収入	14	0
長期前払費用の取得による支出	△489	△440
連結子会社株式の追加取得による支出	—	△1,396
その他	△514	4,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,724	△174
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△997	545
長期借入れによる収入	2,080	—
長期借入金の返済による支出	△2,407	△1,898
自己株式の取得による支出	△6	△1
配当金の支払額	△3,759	△3,760
その他	△381	△473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,472	△5,589
現金及び現金同等物に係る換算差額	△872	△140
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,369	△3,373
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の期首残高	32,678	28,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,310	25,260

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 1 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

	アパレル関連 事業(百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	171,971	11,123	183,095	—	183,095
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	5,422	5,434	(5,434)	—
計	171,983	16,546	188,529	(5,434)	183,095
営業利益	8,709	5	8,714	△15	8,699

(注) 事業区分については、当社の事業目的により、アパレル関連事業とその他の事業に区分しています。

アパレル関連事業…………… 紳士服、婦人服等の製造販売

その他の事業…………… 物流関連事業、スポーツ施設の経営、リゾート施設の経営等

## 2 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	154,890	22,486	5,717	183,095	—	183,095
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,487	288	162	1,938	(1,938)	—
計	156,378	22,775	5,880	185,034	(1,938)	183,095
営業利益又は 営業損失(△)	10,429	△1,995	154	8,589	110	8,699

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他… アメリカ・中国・韓国・シンガポール

## 3 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

	欧州(百万円)	その他(百万円)	計(百万円)
I 海外売上高	14,487	11,853	26,340
II 連結売上高	—	—	183,095
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.9	6.5	14.4

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他… アメリカ・中国・韓国・シンガポール

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しています。

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、国内および海外において、アパレル関連事業(紳士服、婦人服等の繊維製品の企画、製造および販売)を主な事業内容とし、さらにサービス関連事業およびリゾート関連事業を行っています。

アパレル関連事業を地域別に「日本」、「欧州」、「アジア・北米」と3区分し、「その他の事業」を加えて報告セグメントとしています。

「アパレル関連事業(日本)」は日本において、「アパレル関連事業(欧州)」は欧州において、「アパレル関連事業(アジア・北米)」はアジア、北米においてのアパレル関連事業となります。

「その他の事業」は物流関連事業、スポーツ施設の経営およびリゾート施設の経営等を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

(単位:百万円)

	アパレル関連事業				その他の事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	142,188	24,856	4,210	171,255	11,228	182,484	—	182,484
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,496	263	145	1,906	5,212	7,118	△7,118	—
計	143,684	25,120	4,356	173,161	16,440	189,602	△7,118	182,484
セグメント利益	12,782	659	210	13,653	268	13,921	△2,551	11,370

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,551百万円には、のれんの償却額△2,746百万円およびセグメント間取引消去2,840百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,645百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。